

臨海地区に樹木を植え続けた 海風の森をMAZUつくる会

初日の出を望むことのできる海風の森

川崎市の臨海部にある浮島町公園は、川崎最東部の公園です。多摩川の河口にあり、海つり施設が隣接しています。この浮島町公園内には、川崎区市民健康の森があり、愛称で「海風(うみかぜ)の森」と呼ばれています。この森は、「海風の森をMAZU(まず)つくる会(以降「同会」と略します)」が管理しています。横浜ベイブリッジより延長された東京湾岸道路と川崎と千葉を結ぶアクアラインの川崎側の入口がすぐそばにあります。近くの海上には羽田空港のD滑走路があり離着陸する飛行機を見ることができます。



▲ 森と風車と飛行機と海

100種類余りの草花と127種類の樹木が植えられており、春にはスイセンや河津桜、秋には皇帝ダリアを見ることができます。また、約30種類の渡り鳥を観察することができます。



▲ 樹木が生長した海風の森

海鳥たちが憩う、川崎で唯一川と海に面した、初日の出を望むことのできる市民健康の森です。

主な常時活動

同会は、定例の常時活動として、毎月第2・4日曜日と第1水曜日の午前中に、樹木の下枝おろし・草刈り・園内のごみ拾い・薬(ひこばえ)切り・草花用花壇設置・樹木の名札等の作業をしています。5月から11月にかけては、草木が伸びすぎない



▲ 夾竹桃の粉碎機処理

うちを基本にしています。機具使用時は、2名以上で作業にあたっています。

いうちに何回かに分けて草刈りや下枝おろしをしています。

年間計画にそって作業していますが、内容は作業員自身に任されており、自由に作業する

イベント・協働行事への参加

その他のイベントや協働行事の活動として、同会主催のイベント・東海道川崎宿のイベント参加・大師サマーフェスタ(クラフト作りやザリガニ釣り)参加・保育園(東小田、大島、藤崎)との世代間交流会(ゴーヤ等の土作り、植え付けネット張り指導)・観察会や自然調査・市や区の協働行事等に協力しています。



▲ 作業後のカップ麺タイム



▲ 「海風の森で遊ぼう」ピオラ植え

代表の小笠原さん(89歳)は、自分たちの植えた樹木を見ることを楽しみにしているそうです。小笠原さんに電話で取材依頼したところ、夏の暑い時期には、「朝5時に海風の森へ来て作業をしている」という声に、驚きました。また、取材当日には、ヘビを確保しましたが、また森に返してあげました。ぜひ



▲ 小笠原由夫さん

紹介したい木があるといいながら、植えてあるところまで案内してくれました。それは、2005(H17)年蒔いたドングリで、ワインの栓やバドミントンシャトル(羽根)等に使用されているコルクガシでした。コルクはエコロジー型の素材と言われ、資源保護の観点



▲ コルクガシの弾力確かめる
小笠原さんと中村さん

から見ても自然にやさしい素材で、20年毎に再生する樹皮だけを採取してコルク素材を作ることができるそうです。

緑の樹木、青く広がる空と海、そして白い風車と飛行機は、写真撮影のベストスポットとしてお

薦めです。会員を随時募集中ですので、興味のある方は、ぜひご一報ください。

■ 問合せ 小笠原 由夫さん TEL 090-4456-8029